

1 日時：令和3年7月1日（木） 18：00～19：30

2 場所：社総合庁舎 本館1階入札室

3 参加者：生活分科会メンバー4名出席。ビジョン担当班長

4 「北播磨おもいやりボード」の作成

- ・〇〇委員に作成していただいたたたき台をもとに検討した。
- ・検討のポイントは、①役に立つ、使えるボード、②使ってみて相手から「いいね」がもらえるボード、③そのためには、専門家の意見をもらう、テスト使用を試みる、④普及方法を考えておく。
- ・⑤その他気のついたこととして、病院の人は早口で、説明資料も文字が小さいという実態から、外国人には、やさしい日本語の方がわかりやすいのでは、という意見があった。
- ・たたき台の表現について、やさしい日本語のみで表記する。大きな文字を使う。文章というよりは単語の羅列に近い表記。女性バージョンの方がやさしい。英語表記は補助的に使う、といった観点で検討した。⇒〇〇から〇〇委員へ伝える（別紙）。
- ・③について、小野市と加東市の国際交流協会の助言を求める。〇〇、〇〇委員から打診。

3. みらいえフェスティバルへの参画

10月24日（日） 10時～15時、屋外。吹奏楽とか、各種催し物の出展あり。

ビジョン委員会として、1ブースの出展要請があった。

出展内容はこれから考えるとして、生活分科会としては出展の機会を活用する。

4. 企画委員会の報告（配付資料）

（班長から）各分科会の活動状況、スケジュール、未来フォーラム（案）、郷土料理本の作成（案）について説明があった。

5. 次回開催日程

8月19日（木）、or26日（木）18時から、社総合庁舎で。

欠席者も含め、分科会長から各委員へ都合を聞く。

6. 閉会

別紙 検討状況

やさしい日本語が一番理解しやすいのではないかとという観点から検討した。これで十分ではないので、専門家の意見もいただきながら、さらに検討を重ねる。

■自己紹介

ぼく（わたし）は、〇〇〇です。⇒〇〇〇は、名前を言う。

元気ですか⇒OK

今、お話、いいですか？⇒今、話してもいいですか？

はい、いいえ⇒〇×は誤解が生じるので、はい、いいえで。

困ったときは、言ってね、さようなら。⇒困ったときは言ってください。じゃあまたね。

■世間話

体、元気ですか？⇒体調はよいですか。

どこから来ましたか？⇒どこの国から来ましたか。

こっちに来て何年？⇒日本に来て何年ですか。

困っていますか？⇒何か困っていますか。

■①体調編

どこか痛いですか？⇒どこが悪いのですか。

いつから痛いですか？⇒いつから悪いのですか。

病院に行きましたか？⇒病院に行きますか。

※どこへ行ったらよいのかわからないのです。⇒病院を教えてあげることにより、結果として病状に合わないところへ行ってしまった場合のリスクがある。どうするか。

■②日常生活編

道、わかりますか？⇒どこへ行きたいですか。交通手段にもよるが、そこは遠いですよ、いっしょに行きましょうか、地図を書いてあげるとか、状況に応じた対応が必要。

■③育児編

育児経験のある女性の視点で検討していただくことで、宿題。

加東こども家庭センターは不要か。普段育児指導してもらっている、市の健康課に聞いてみることを勧めたらどうか。